

# 海況速報

平成7年度 第3号(通算 No.45)  
平成7年8月22日  
北海道立水産試験場

内容についての問い合わせは

中央水試海洋部 0135-23-4020

## 7月下旬～8月上旬の海況

### 【日本海海域】

前回(6月)雄冬岬はるか西方にあった暖水渦(中心:200m層水温 $3^{\circ}\text{C}$ 以上)は北緯44度30分まで北上しました。この緯度の本道沿岸側には50m層に水温 $12^{\circ}\text{C}$ 以下の冷水域が形成されています。北緯43度30分線上では、100m層水温 $7^{\circ}\text{C}$ で見ると、前回に比べ対馬暖流の幅が約45海里広がっています。これに対して津軽海峡西方北緯41度30分線上では、50m層水温 $7^{\circ}\text{C}$ の等温線が前回の時よりも約25海里沿岸側にあり、対馬暖流の幅が狭くなっています。

北緯44度30分以北の水温は、累年平均(\*1)に比べ、表面で $-1\sim+1^{\circ}\text{C}$ となっていますが、50m層以深では $-3.8\sim+2.5^{\circ}\text{C}$ と変化が大きくなっています。北緯42度30分～北緯43度30分では、表面で累年平均並のところが多くなっていますが、100m層以深では $0\sim+2.5^{\circ}\text{C}$ となっていて、水温が高くなっています。しかし、北緯41度30分線上では、全層で $0\sim-2^{\circ}\text{C}$ の範囲が多く、水温が低くなっています。

余市における沿岸水温(旬平均)は、6月下旬以降8月上旬まで、平年値に比べて $-0.8\sim+0.8^{\circ}\text{C}$ の範囲にあり、平年並みで推移しています。

### 【道東太平洋海域】

北緯41度以北では、前回同様100m層水温 $5^{\circ}\text{C}$ 以下の親潮に覆われています。観測海域に暖水塊や暖水が観測されず、沿岸には道東沿岸流(今回の場合、たとえば50m層水温 $7^{\circ}\text{C}$ 以上の範囲)、その沖側には親潮という単調な構造となっています。

水温について見ると、100m層以深では $-1\sim+1^{\circ}\text{C}$ の範囲にあるところが多く、ほぼ累年平均並となっていますが、表面では累年平均より $2\sim6^{\circ}\text{C}$ 低いところが多く、水温が低い状態にあります。

### 【道南太平洋海域】

恵山岬以北の海域では、前回(6月)親潮に広く覆われていましたが、今回は津軽暖流起源の水に広く覆われています。100m層水温で $10^{\circ}\text{C}$ の線が、浦河沖の北緯42度以北にあるところから、津軽暖流は渦モード(\*2)になったようです。また、本来水温の高い津軽暖流水が覆っているはずのところの尻屋岬東方沿岸部の100m層以深には、水温 $5^{\circ}\text{C}$ 以下の親潮が入り込んでいます。襟裳岬南南西沖には、津軽暖流水起源と考えられる、100m層水温 $5^{\circ}\text{C}$ 以上の暖水が前回と同様に見られます。

水温について見ると、累年平均に比べ、表面では $-1\sim+2^{\circ}\text{C}$ のところが多く、累年平均並に

なっています。50m層以深を見ると、恵山岬より北側の海域では2～3℃高いところが多いのに対して、南側の海域では累年平均より水温が低いところが多く、特に尻屋岬東方沿岸側100m層では7℃以上低くなっています。

#### 【オホーツク海海域】

表面水温17℃以下の冷水帯が宗谷海峡東部から知床岬沖まで形成されています。また、網走から知床岬にかけての沿岸側の200m層水温が前回（6月）より下がって0℃以下になっていることから、宗谷暖流の厚さが少し薄くなっているようです。

水温について見ると、累年平均に比べ、表面では0～2℃高いところが多くなっています。しかし、50m層以深では冷水帯域の下層と沿岸部の宗谷暖流域では逆に0～2℃低くなっています。冷水帯域より沖合い側の海域では、各層とも-1～+2℃の範囲にあるところが多くなっています。

---

#### 資 料 〔観測期間〕

青森水試（東奥丸）	平成7年8月2日～同8月3日（東北日本海海域）
稚内・網走水試（北洋丸）	平成7年7月31日～同8月2日（オホーツク海海域）
釧路水試（北辰丸）	平成7年8月1日～同8月4日（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	平成7年7月25日～同7月27日（道南太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	平成7年7月25日～同8月1日（道央・道北日本海海域）

---

\*1: 平成元(1989)年～平成6(1994)年までの平均値を使用しました。

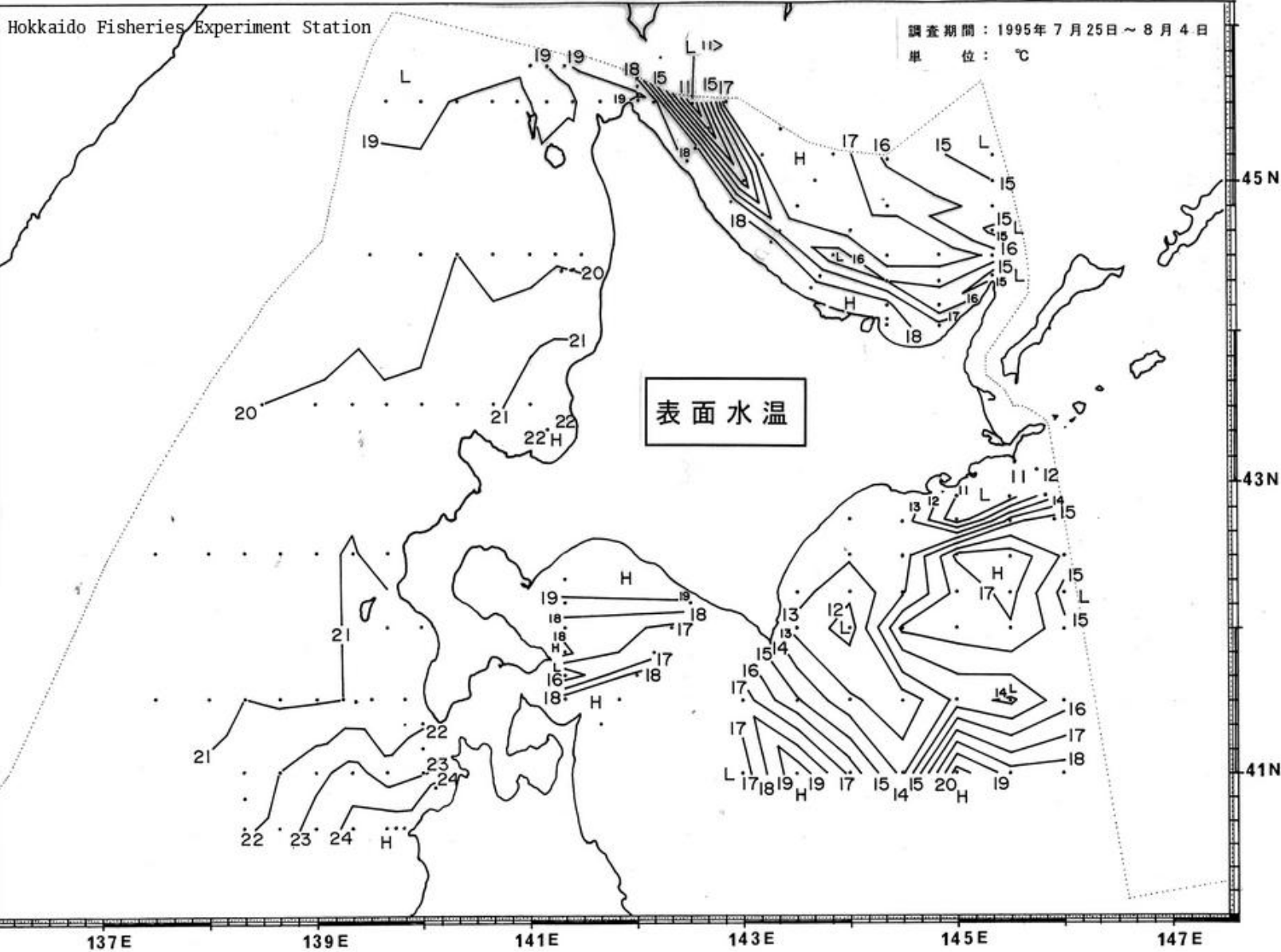
\*2: 津軽暖流が北海道沿岸近くまで大きく蛇行してから三陸方向へ流れる状態。

(中央水試 海洋部)

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1995年7月25日～8月4日  
単位：℃

表面水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1995年7月25日～8月4日

単位：℃

50 m層水温

137E

139E

141E

143E

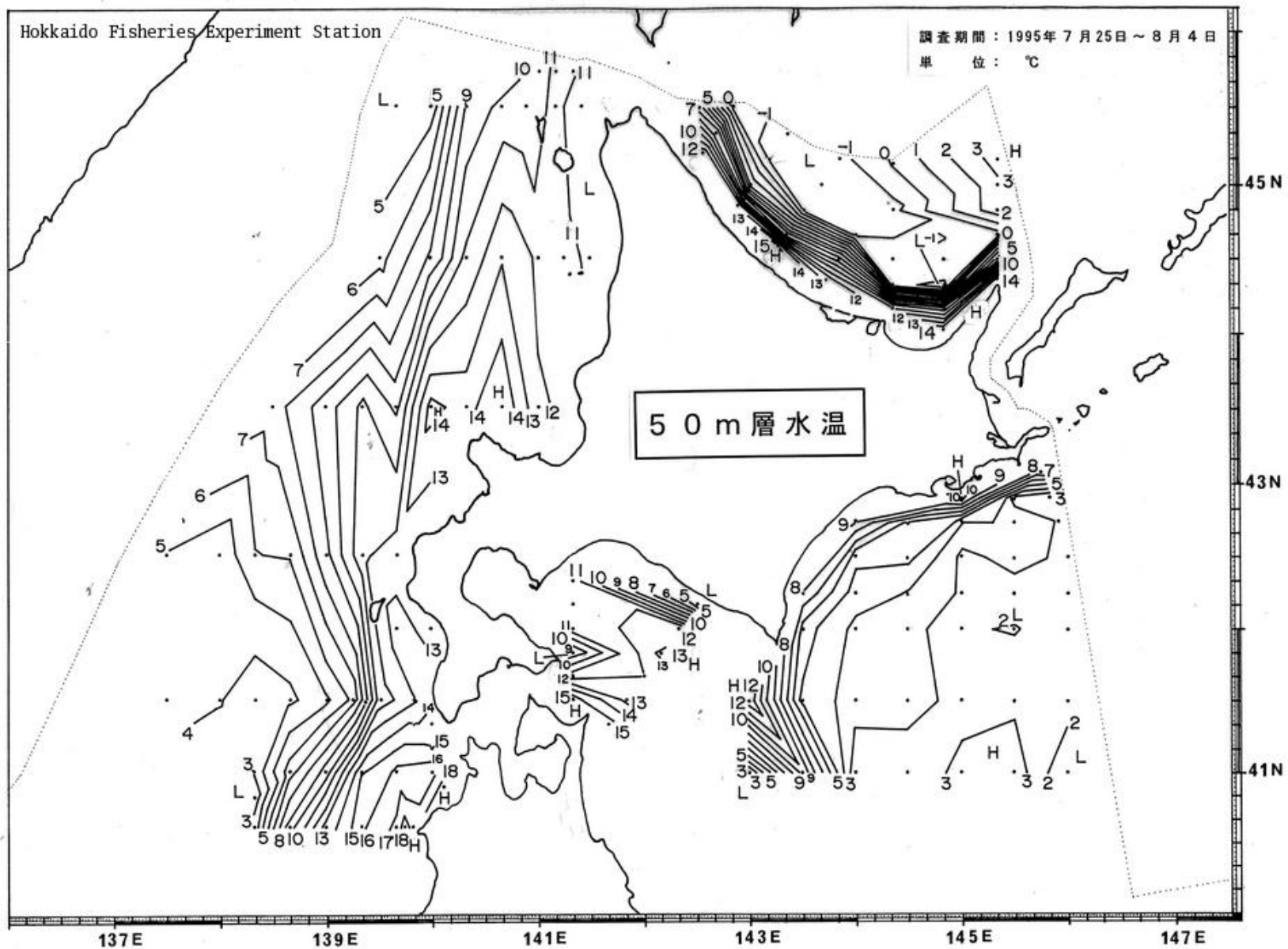
145E

147E

45N

43N

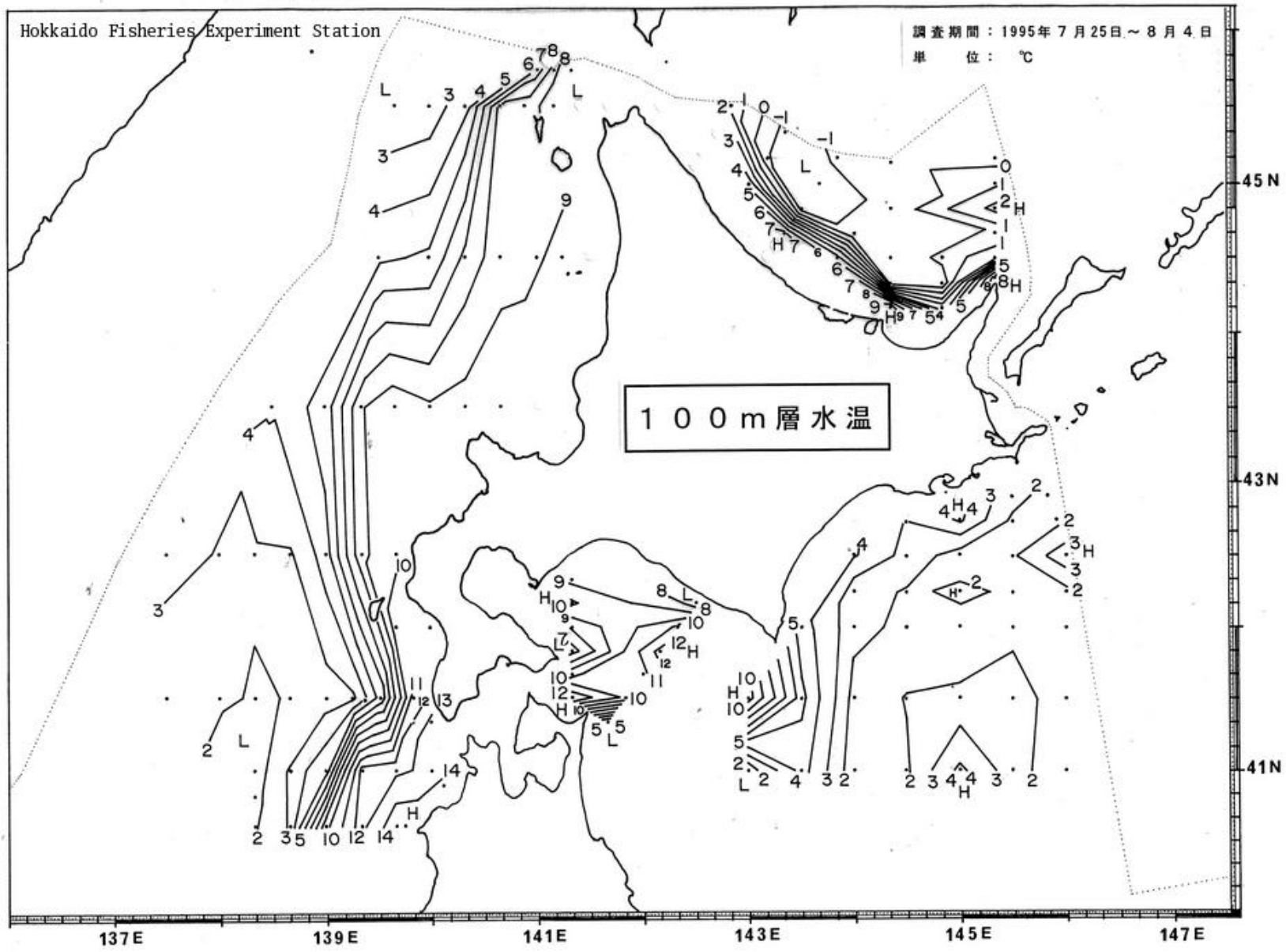
41N



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1995年7月25日～8月4日  
単位：℃

100m層水温



137E

139E

141E

143E

145E

147E

45N

43N

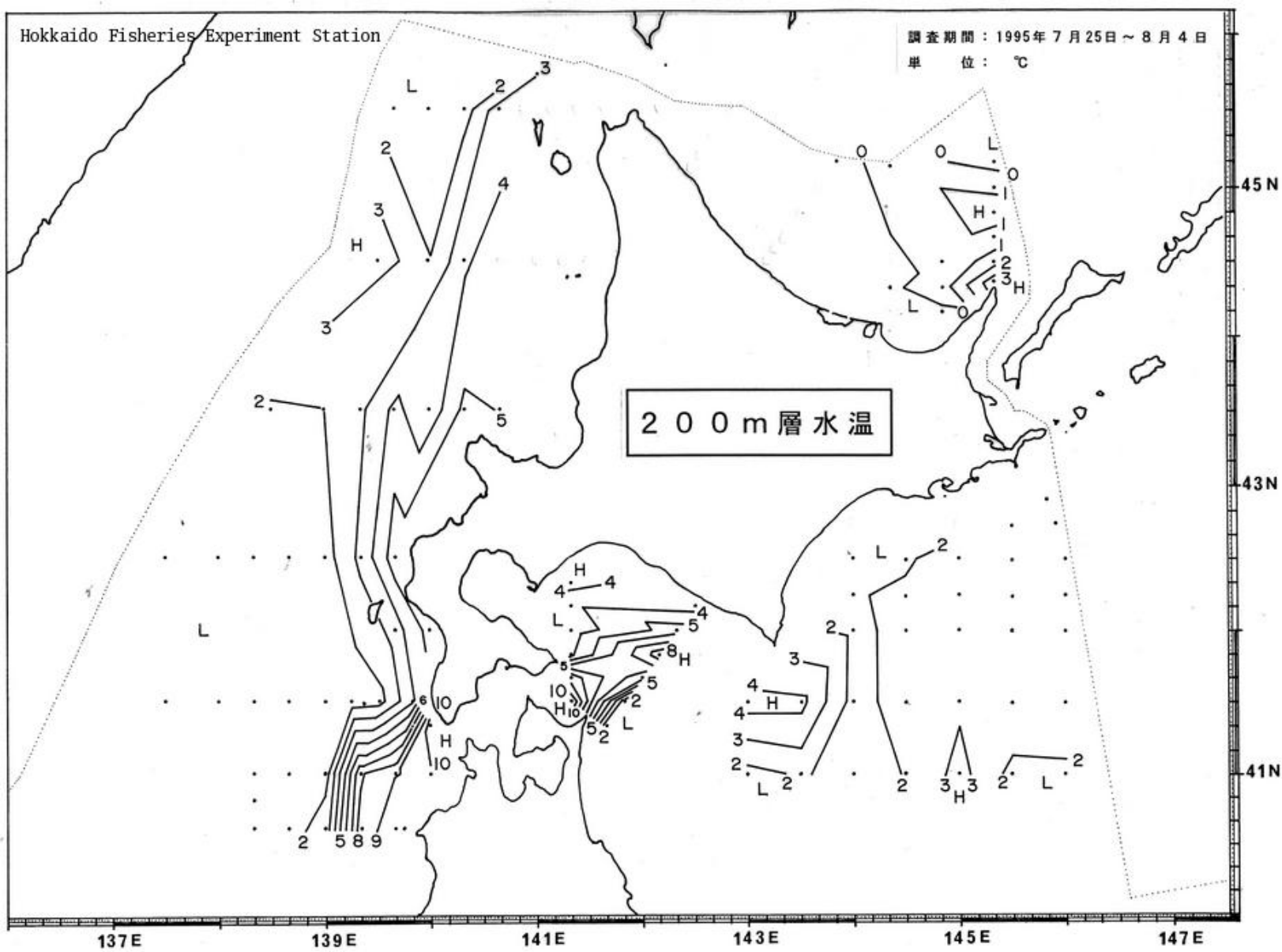
41N

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1995年7月25日～8月4日

単位：℃

200m層水温



137E

139E

141E

143E

145E

147E

45N

43N

41N